

伝説の暴力映画の鬼才が戦場に生きる男たちの姿を雄々しく謳った血まみれの挽歌

クラシック・シネマ

『戦争のはらわた』

今もなお多くの映画ファンを魅了して止まない伝説の監督サム・ペキンパー唯一の戦争映画。スローモーションを多用した独特の映像で再現される地獄の戦場は圧倒的な迫力。その頂点はクライマックス。涙無くしては観られない、まさに究極の反戦映画。

豪華客船ブリタニカ号に仕掛けられた七つの爆弾。乗客の運命はひとりの男の双肩にかかった!

クラシック・シネマ

『ジャガーノート』

緊迫の爆弾除去の中に高らかに謳われるプロフェッショナルへの賛歌。クライマックスの心臓破りのサスペンスで70年代最高のパニック映画として映画通から高く評価されている傑作。「赤か? 青か?」。究極の選択に迫られた時、男の真価が問われる!

満員のアメフト・スタジアムに覆う無差別射殺魔の影。阻止できるか、SWAT隊!

クラシック・シネマ

『パニック・イン・スタジアム』

前半は様々な人間模様を点描しながら、無差別乱射へのサスペンスを高め、銃撃が始まる後半は一転、阿鼻叫喚の地獄絵が展開。その迫力は公開四半世紀を経た今でも衰えることなし。見ものは冷徹の職務を執行するロス市警特別狙撃隊SWATの勇姿。

イスラム過激派が企む大規模テロ。死力を尽くし阻止せんとするモサド工作員とFBI

クラシック・シネマ

『ブラック・サンデー』

『羊たちの沈黙』の原作者トマス・ハリスのデビュー小説を映画化した70年代最大のポリティカルサスペンス。濃密な人間描写が現代では再現不可能な大スペクタクルを展開し、クライマックスを盛り上げる。まさに大人のための傑作!

普通の大学生に迫るナチ残党の陰謀。映画史上最恐の拷問にあなたは耐えられるか?

クラシック・シネマ

『マラソンマン』

アカデミー賞に輝く『真夜中のカーボーイ』の監督&主演コンビが贈る社会派サスペンス。複雑怪奇な物語を停滞させず、じわじわと緊張を高めていく語り口は抜群。圧巻は公開時、途中退出者が続出したという拷問シーン。これを見たら二度と歯医者には行けない!?